

大好き！吉岐！ 紹介「しまおこし人」

vol.2

中山貴史さん (36歳)

大好き！吉岐！紹介「しまおこし人」、このコーナーは、「愛する吉岐の島の島おこし、今以上に住みよい島になつていくために、何か役立てる自分でありたいと、様々な活動や行動を起こしている若者たちや市民を、紹介するコーナーです。



第2回目となるこのコーナーに登場するのは、第1回目に「美しく楽しく学びを始めた吉岐の島なら、はのシーンを、今取り組んで利用し活かしなが、その魅力を発信し続けたい。そんな流れの中で、島の何かの役に立てれば」などと語った馬場裕司さんからの紹介で、郷ノ浦町、中山貴史さん(36)。



自転車仲間と店の前で。

スローライフ

佐賀での修業時代にしていたスロートボドの仲間たちから、自分では「スロウライフ」のニックネームをもらい、パインナリテイを勤める吉岐FMの「グレイのクラブ」を組んで、吉岐に任じている以上、スローライフという言葉が常に頭の中にあふれ、弾き語りの曲作りにも共通しているテーマ」と話す。夏至の日に全国的に一

つながらはラジオ、弾き語り、サーフィン

吉岐へ帰って7年、馬場さんはサーフィン、ラジオ、弾き語り、楽しい時間を共有できる仲間

「ワイワイガヤガヤと番組をつくっているが、吉岐組を組んでいる以上、スローライフという言葉が常に頭の中にあふれ、弾き語りの曲作りにも共通しているテーマ」と話す。

この姿勢を是非兼ねてほしい。ほとんども思っている。そこに向かって動いていきたい。

あしべ文芸第211号

川柳作品集より

篠崎絹代選

「犬」
まっしぐら子犬が走る我を見て
電柱に香りを残す習性か
我が家には犬年生まれが四人いた
ただ今とまらず愛犬に声を掛け
えさねだる犬はただ今グイェット
娘の帰省犬の船賃四百円
セレブです犬を入れてるルイヴィトン
まいご犬尾を振り去らぬ冬の夕
国会は犬と猿との喧嘩ごし
初雪に犬の足跡染しげに
松本美英子
中村 二枝
石橋美恵子
横山 幸子
石橋美恵子
竹尾 久恵
竹尾 久恵
出口多喜代
高内 絹子
江川 漣

「犬」
まっしぐら子犬が走る我を見て
電柱に香りを残す習性か
我が家には犬年生まれが四人いた
ただ今とまらず愛犬に声を掛け
えさねだる犬はただ今グイェット
娘の帰省犬の船賃四百円
セレブです犬を入れてるルイヴィトン
まいご犬尾を振り去らぬ冬の夕
国会は犬と猿との喧嘩ごし
初雪に犬の足跡染しげに

この姿勢を是非兼ねてほしい。ほとんども思っている。そこに向かって動いていきたい。

第35回県下消防職員意見発表会 最優秀「防ぎえた突然死を減らすために」

消防士 宇野勝巳



一般市民によるAEDの使用が認められて8年あまり、全国で33万台を超えるAEDが設置されており、バイスタンダーがAEDを使って尊い命を救った事例も多数報告されています。

「人が倒れて反応がありません。AEDを持って来て下さい。街中で頼まれたら、皆さんは何処に取りに行きますか。ではそれが深夜だったら。昨年春、私はある心肺停止の救急現場に出動しました。深夜2時、傷病者は40代の男性。現場に着くと救命講習を受講した事のある息子が、必死に心肺蘇生をしていました。ところが、傷病者宅のすぐ傍らに学校があり、AEDが設置されていたものの夜間であった

ため使用できませんでした。様々な場所にAEDが設置されるようになり、学校や公共施設などの夜間や休日を持ち出すことのできない場所にあります。ただ設置しているだけで、いざ必要な時に使えない事もあるのです。では、いつでもAEDを使用できる場所とは何処でしょうか。私は、コンビニと屋外の自動販売機へのAED設置義務化を提案します。コンビニや屋外の自動販売機は昼夜を問わず営業しています。また、国内のいたる所にあり土地勘のない人でもとても目に付きやすいものです。そのため、何処にあるかわからない、使いたい時に使えないという事態は

「人が倒れて反応がありません。AEDを持って来て下さい。街中で頼まれたら、皆さんは何処に取りに行きますか。ではそれが深夜だったら。昨年春、私はある心肺停止の救急現場に出動しました。深夜2時、傷病者は40代の男性。現場に着くと救命講習を受講した事のある息子が、必死に心肺蘇生をしていました。ところが、傷病者宅のすぐ傍らに学校があり、AEDが設置されていたものの夜間であった

私のマンシヨンの下には、ダムの方へ続く鹿尾川が流れています。白鷺をはじめ、カワセミ、セキレイ、ツバメ、スズメ、シジュウカラ等が翔んでくるので歩くのが楽しみです。春になるとツバメが、川の泥をくわえて巣作りを始めます。天敵のカラスからヒナを守る為、人が出入りする内側の軒下等を選びます。ある日、七階のエレベーターの入り口の上に、二羽の若いツバメが壁に貼り付く様にして巣を作り始めました。北側のコンクリート壁は、湿気が多い為、泥の接着が悪いのです。抱卵中に落下して壊れた現場を、他のビルで以前に見てきた私は、若いツバメ夫婦になるだけ早くその事を教えてやらねば、と思いました。思案の末、紙にマジックで「ここでの巣作りは危ないよ」という内容の手紙を書いて貼りました。文字は読めなくてもツバメは危険だと悟ってくれたのでしょうか。エレベーターの上の壁には、泥土を少し残したまま二羽のツバメは、もう来なくなりませんでした。近年は野鳥の姿が減り寂しく思っています。

発生しません。既に設置している所もありますが全ての場所でない限り迷う原因になりかねません。さらに、AEDの電池やパッドには使用期限があるため、ただ設置するだけでなく年1回以上の定期点検を義務付けます。点検はAED点検者という資格を設け、消防職員が行うのです。これで、持っているものの使えなかつたという事態も減少するのではないのでしょうか。ただし、二つの問題があります。一つ目にセキュリティです。誰もが持ち出せるため盗難にあう可能性がります。誰かが持ち出した場合、大音量のブザーが鳴るとかあるいは小型のGPS発信機を取り付けることで被害を最小限に抑え

二つ目にコストです。1台数十万円するAEDを、全額事業者が支払うとなると負担が大きく設置率が上がらない原因になります。命を救う大切なものだからこそ自治体が一部補助金を出してはどうでしょうか。電気ショックが1分遅れることに7、10%死亡率が低下します。年間3万人も命を救う大切なものだからこそ自治体が一部補助金を出してはどうでしょうか。

趣味の自転車から

この姿勢を是非兼ねてほしい。ほとんども思っている。そこに向かって動いていきたい。

「短歌とエッセイ」 市山 節子
ふるさと吉岐 (その七)

青ぞらに白なみ寄する左京鼻見おろすことく鬼風うなる
たくましく素もぐり漁する海女さんの七十二才のやさしき笑顔
海底のムラサキウニが天然の触手張りつつ引き揚げらるる
絶妙な味の余韻がのどおくに残る生ウニふるさとのあじ
海女さんの無事を守る六体のほらほげ地蔵に夕陽さしくる

これから
街は歩いていく人がとても少なくなつた。様々な出会い、趣味のつながり、消防団などでの活動を含め、地域のかかわりを深めながら、自分でできる事を通して地域の活性化、人通りの復活に役立ててほしい。



ねぎ坊主